

電機業界大手10社を大胆分析

平成18年6月20日発行(隔週火曜日発売)第41巻第12号(通巻825号) 昭和45年9月3日第3種郵便物認可

経済の新しい風

2006 JUNE

6.20

No.825

定価 600yen

経済界

弁護士
熊崎勝彦

「弱肉強食」がより先鋭化!

●特集 電機10社を大胆分析

松下、ソニー、シャープ、東芝、日立、NEC、富士通、三菱、三洋、パイオニア

●インタビュー 秋草直之 富士通 会長 「世界で戦う日本企業に、これからもIT基盤を提供していく」

大新東、レナウン、内海造船に次々出資するカレイドHD・川島隆明 代表 に直撃

「投資好機の今こそローリスクハイリターン」のオプション取引を 高橋淳介 日本オプション取引 研究所理事長

★21カ月連続前年割れ 既存店の活性化なくしてコンビニの復活はない!

●オンテックス <http://www.ontex.co.jp/>

「ファンド・ファンクション」、**「オンテックス・プラス」**など関連会社展開を加速



「事業化が可能な若手社員のプランは積極的に採用します」と語る小笹公也氏

ボクサー出身の若者が21歳で起業。塗装業の下請けからスタートし、下請けはいくら頑張っても年商5億円止まりと見ると完全独立。さらには塗料の販売や塗装建材の製造・販売へとシフト。

やがて、外壁外断熱工法「Eテックスプロヒート工法」、外壁セラミック塗装材「オルテックウォール」シリーズ、コンクリート劣化度測定試薬「データリオテスタ」などオリジナル商品を積極開発。近年は、生活総合支援企業として急成長を遂

げてきたオンテックス(大阪市)。

「看板」だった中卒社長の肩書を捨て、名門・同志社大学商学部に入學し、今年3月に卒業。2004年には米国ハワイ州に本部を置く名門ランバード大学より、「人文学名誉博士号」を受賞。小笹公也CEOは、今や知的エリートのアウヰアを漂わせる。

そのオンテックスがここに来て、次々新規事業を展開させている。

そのひとつが、05年8月に堺市でオープンしたスーパー銭湯「蔵前温泉」さらさのゆだ。市内でも特に人口が多い地区である蔵前町に、季節ごとに全国の名湯を再現する季替り温泉館、漢薬蒸風呂、香り風呂、石風呂、寝転び風呂、湯煙処など多種多様な風呂を展開。あかすりやゲルマニウム温

浴、岩盤浴などのサービスもあり、早くも地域の名所となっている。

05年7月始業の「ファンド・ファンクション」は不動産証券化、ファンド運用などを通じて、投資家の資産運用を図る不動産事業と、M&Aコンサルティングや財務アドバイスのコーポレート事業を2本柱に、企業・不動産の高付加価値ソリューションを提供する。

「オンテックス・プラス」は05年3月始業。営業支援システムの販売や営業コンサルティング、会社経費削減を推進するコンサルティング事業を展開。さらにハード・ソフト両面から応え、次世代型の企業向けソリューションビジネスを展開している。

これらの新規事業展開は、

社内で実施するベストプロポーズ賞の成果だという。

「若手社員には自らやってみたい新規事業のアイデアがたくさんあるでしょう。それを2カ月に一度募り、これは良い! という事業プランはどんどん実現させたいと思っています」

21歳の起業から今日まで、何回か経験した、経営的にきつい時期を乗り越えてきただけに、若手社員のモチベーションアップを図るツボを心得ているのだ。

大阪の「新しい顔」となる新開発地区・ミナミの難波駅近くに、新本社ビルを建設中。今年11月のオープン・移転を機に、さらに拡大を加速する勢いだ。

